

安来高新聞



発行所：安来高校新聞部
〒692-0031
島根県安来市佐久保町115
TEL：(0854) 22-2840
FAX：(0854) 22-3612

全校の集団力を見た！ 校内ロードレース大会で絆深める



給水所で保護者から水を受け取るランナー

10月25日に本校でロードレース大会が行われた。男子17km、女子12kmという長距離を校長先生を含めて全校生徒が一所懸命に走った。

男子1位の永田一貴さん(2年)は「楽しいロードレースだった。怪我をしないようにアップをしつかり、後半にスピードを

上げるのができたのがよかった。来年も怪我をしないようにすることと、完走することを目標にしたい」と笑顔で語った。女子1位

の濱崎由唯さん(2年)は「去年走ったのもあって、ペース配分がしつかりできた。清水ランニングで走るときにタイムが縮むように努力したり、ロードレースのために体調を整えたりした。ベストを尽くせたい」と笑顔で語った。今年も完走を果たした児玉校長先生は「今年是最悪なロードレースだった。体調が悪くて、全校生徒の集団力のおかげで走りきることができて良かった」と苦笑いをしながら語った。



1位でゴールする永田一貴さん

好天に恵まれ、大きな怪我や事故もなく、良いロードレースとなった。(業)

上位入賞者(学年 部活動)

女子

男子

10位	山本萌映(2年バレー部)	山根昶士(1年バスケット部)
9位	渡部千紗(2年バレー部)	岩田尚之(3年S.B部)
8位	富田未来(2年バスケット部)	渡部魁人(1年野球部)
7位	松本桃果(2年バレー部)	高橋昂大(3年陸上部)
6位	宮本愛海(2年バレー部)	桑原疏偉(2年バレー部)
5位	竹崎恭子(3年バレー部)	庄司光一(3年野球部)
4位	渡邊莉陽香(2年バレー部)	飯橋祐太(1年野球部)
3位	西尾美音(2年バレー部)	前嶋裕佑(2年陸上部)
2位	山本実侑(2年バレー部)	永田晃弘(2年陸上部)
1位	濱崎由唯(2年バレー部)	永田一貴(2年陸上部)

佐久保発 旬を感じて

近頃風が冷たくなり、季節が夏から秋に変わったのを感じる。秋といえば「読書の秋、運動の秋、芸術の秋」など、いろいろな「○○の秋」があるが、私はやはり「食欲の秋」だ。さつま芋や栗、さんま、梨など、いろいろな旬の食べ物があり、どれもとてもおいしい。しかし、今年は特に野菜の値段が高騰している。ものによっては通常の2倍の価格で売られているものもあるくらいだ。原因は秋雨前線による日照不足もあるが、一番は台風の影響だ。8月には3つの台風が北海道に上陸した。台風が北海道に3つも上陸したのは統計開始以来、初めてのことで、台風の多発には、地球温暖化による海水の温度上昇が深く関係している。また海面は年間2ミリ程度上昇してきている。これは大問題で、このまま何もしないでいるのはいけない。私たちは春夏秋冬、旬の味覚を楽しむことができていくが、近い未来、温暖化による気候変化で、そんな当たり前のことが当たり前ではなくなるかもしれない。そのため、今のうちからそれぞれの生活を見直していくことが大切だと思う。(友)

芸術鑑賞

ing劇団が披露した『エディイー』

全校生徒をひきつける

10月24日（月）に芸術鑑賞が行われ、今回は劇団イングによる伝説のボクシングトレーナー、エディ・タウンゼントの演劇を全校生が鑑賞した。



エディイーさんが井岡さんに稽古をつけるシーン

迫力のある演技や演出に圧倒され、生徒達は食い入るように見ていた。劇は最初から最後まで目が離せないような内容で、とてもパワー溢れるものであった。

劇を見た生徒の中には今まで見た演劇の中で一番感動したと言う人もいた。

この劇は劇団イングの旗揚げ作品であり、音楽・セリフ・照明全てを含めて見たり、聞いたりなど視聴覚的に楽しめるものとなっている。主人公のエディイーさんはボクシングに一生を捧げ、トレーナーとして「ハートのラブ」で選手を育成した。

人柄から多くのボクサーに慕われ、弟子達は皆、「自分が最もエディイーさんに愛さ



感謝を告げる生徒会長

方など変え、不自然がないようにして欲しいと思った。話の流れもとても整っており、学ぶことがたくさんあった。今回、演劇を見て、色々な表現方法を知れた。自分たちの劇でもやってみよう」と話した。（愛）

演劇部部長は「エディイー」をこう見た!!

劇団イングの演劇について演劇部部長の加納史大さん（2年）に話を聞いた。加納さんは「他の学校の生徒達の劇は見る機会はあるが、プロの劇団がやる劇を見るのは初めて。演劇部は準備を手伝ったが、安高のステージに合わせ、しぐさや歩き



演劇部部長の加納史大さん



作品タイトル「暖かみ」

中から5位入賞を果たした。小村さんは「受賞したと知り、とても驚いた。女の子の恋心が届かない様子をテーマとして撮影した」とこの写真に込めた思いを話した。また、顧問の板倉先生は「小村さんは遊び心や探求心、アイディアにあふれていて、とてもすごい」と熱く語った。（友）

写真部

全国で5本の指に入る!

小村奈々さん（3年）の写真が、第17回九産大フォト

コンテスト「上野彦馬賞」で、数万点もの応募作品の中

れたボクサーだ」と言うほどであったという。劇団員に演劇について話を聞いた。「演劇の魅力を探求し続けながら

日々活動しているが、人の心の動きを間近に感じられることが演劇の魅力である。人の心に何かを響かせることはすばらしいことだ。また、終わつたときに喜んでくれていた姿をみるとやはりやりがいを感じる」と笑顔で話した。（愛）

中国大会進出

●中国高等学
校囲碁選手権
大会県予選
大江珠未(2年)
優勝
漆原友紀(2年)
3位
↓中国大会12
月17、18日出
雲市

男子個人
野坂康平(2年) B16
堀内玲志(2年) 21位
10月29日から行われる
団体戦結果を受けて個人
の出場が確定するが、野
坂選手はほぼ確定、堀内
選手も可能性大(10/26記)

●フェンシング中国大会
県予選
男女団体、個人で中国
大会へ
個人 金築元喜 藤原圭
男子部長の金築元喜さ
ん(2年)は「勝ちにこ
だわらず、練習で磨いて
きたスピードを発揮しよ
うと思った」と笑顔で語っ
た。

堂々と本の良さを語る田中悠稀さん



高校ビブリオバトル
中国大会が行われ、田
中悠稀さん(2年)が
準優勝に輝いた。田中
さんは村上春樹著「色
彩を持たない多崎つく

外思いつかなかつた。
いちばん好きな本を紹
介したいと思ったから
だ」と語った。結果を
聞いてどう思ったかを
聞くと「手」たえがあつ

たので正直優勝したと
思っていた」と悔しそ
うな表情で語った。こ
の大会を振り返って良
かった点を聞くと「決
勝ではほぼアドリブだつ
たが、喋れたので自分
は本番に強いというこ
とに気付けた。主人公
と自分の心情の似てい
るところを伝えること
ができて良かった」と
語った。最初は自分の
思いを文章にすることに
が大変だったと話し、
自分の気持ちを文章に
して相手に伝えること
は難しいことだと改め
て感じた。(栞)

ると、彼の巡礼の年」という本を紹介した。この本を選んだ理由を聞くと「とても思い深く、心に残っているためこの本以

田中悠稀さん
快拳
ビブリオバトルで
中国大会
準優勝!



劇「見えにくいアヒルの子」をする演劇部部員たち

新生 演劇部!

見る人に伝わる演技を

9月15日から島根県民会館にて行われた松江地区演劇発表会に、新入部員を多数迎えて活気づく演劇部が出場した。

演目は「見えにくいアヒルの子」で、登場人物のいじめられていた過去が徐々にあぶりだされていくという内容である。いじめの残酷さをより表現するため、元の脚本の明るいラストをあえて暗くアレンジをしたり、アドリブをいれたりなど様々な工夫を加え迫力のある発表を行い優良賞を受賞したが、県大会への出場はかなわなかった。部長の加納史大さん(2年)は「もっとよい発表が出来たと思うので悔しい。一人一人が自分のセリフに責任を持ち、相手に伝わる演技をしていきたい」と振り返った。顧問の

身だけでは面白くない、みんな積極的に参加していこう。基本的なことできないと何にも繋がらない。だから、あいさつなど基本的なことも大切にした」と熱く語った。(愛)

新しい風を吹かせる生徒会 生徒会長決まる

9月13日に生徒会長選挙が行われ、高田愛理さん(2年)、長谷川雄亮さん(2年)が立候補した。立会演説では、両者ともどのような学校にしたいかなど全校生徒へ向けて自分の思い、考えを話した。そして、投票の結果長谷川さんが生徒会長となった。

後日、長谷川さんは「お互いの良いところを吸収し、高め合えるような環境にしたい。また、みんなで楽しいものを作りたい。受け



生徒会長の長谷川雄亮さん



舞台後の挨拶をする演劇部部員たち

勝部加緒里先生は「部員たちはよく頑張ったと思う。発表では演劇に込められたテーマや思いを自分たちのものにしてどう表現するかというところに重点を置き練習してきた。今後もっと力をつけて教員が何か言わなくても生徒たち自らが、気づき、考え、行動できる演劇部にしていきたい」と熱く語った。(柚)

THE 遠足



散策を楽しむ2年生生徒と姫路城

女性部の活動の原動力
行先地で作る

10月13日に遠足が行われ、1年生は鳥取花回廊と蒜山ジョイフルパークへ、2年生は姫路城へ、3年生は鷺羽山ハイランドに出かけ、思い思いに秋の一日を満喫した。

2年生は「出雲大社・尾道・倉敷・姫路城」という選択肢の中から多数決で、姫路城に行くことになった。

日本初の世界文化遺産である姫路城は、その白く美しい外見から別名「白鷺城(しらさぎじょう)」とも呼ばれる。昨年グラントオープンし綺麗な城見ることが出来る。

姫路城につくと生徒たちは城内見学や動物園、美術館などで有意義な時間を過ごした。城の周りには高いビルや大きな店もなかった。

「昔から引き継がれた雰囲気や伝統などを味わうことができ、良かった」と楽しそうに語った。(業)

松江市立女子高等学校生徒会が講演を行う様子



9月8日に中の海会館にて本校の2年生を対象とした松江市立女子高等学校生徒会によるエイズ出張講座が開かれた。この取り組みは平成9年に始まったもので去年は津田梅子賞を受賞している。主に松江市内の小中学生を対象に、エイズに対する正しい知識を持ってもらうために行っているという。

対象とした松江市立女子高等学校生徒会によるエイズ出張講座が開かれた。この取り組みは平成9年に始まったもので去年は津田梅子賞を受賞している。主に松江市内の小中学生を対象に、エイズに対する正しい知識を持ってもらうために行っているという。

エイズに対する正しい知識を持ってもらうために行っているという。講座では、プロジェクトを使いながら、エイズに関する専門的な内容もわかりやすく説明した。松江女子校の生徒会長、福代沙希さん(3年)は「今日は緊張もあったが、先輩から受け継いできたエイズ講座を自分たちなりに工夫し行えてよかった。エイズ患者に対し、偏見を持つたり差別したりするのはなく、互いに理解し合うことが大切だということも伝えたい」と力のこもった眼差しで語った。(柚)

第2回安高オープンスクール 希望あふれる中学生を迎えて



部活動体験に参加する中学生

10月8日に第2回オープンスクールが行われた。参加者92名と、第2回目

としては過去最高数の中学生が本校を訪れた。今回は学校説明会と部活動体験が行われた。美術部を体験した安来1中の種平歩美さんは「楽しかった。高校生は楽しそうな雰囲気でした」と語った。フェンシング部を体験した松江3中の津森香乃さんは高校生と一緒に練習しており「高校生は男女仲の良い雰囲気です。強くてお手本に

なる」と語った。顧問の永井先生は「中学生は初めてで緊張している力が入っていたけど指導通りにしてくれて教えやすかった」と語った。また、女子バレー部の体験をしてきた生徒の保護者は「高校生は声も大きく盛り上げていていい雰囲気です。練習している。高校は人数でもとても活気がある」と語った。中学生は和気あいあいと高校生の部員と楽しんで部活動を体験していた。(業)

2年生保健講話 高校生に教わる HIV講座

編集後記

ロードレースという2学期の中でもビッグイベントが終わりました。次は文化祭です。文化祭の準備で各文化部がせわしなく働いています。ぜひ、文化部の作品に触れてみて、自分の感性を広げてみてください。

2学期期末テストもまもなくあります。中間テストで思った点数が取れなかった人はイベントに振り回されることなく勉強しましょう。(業)

